

# 東奥信用金庫

## アンケート調査レポート 2024年の見通し

本レポートは、情報提供のみを目的とした当金庫の意見です。

当金庫が信頼できると考える情報源から得た各種データなどに基づいてこの資料は作成されていますが、この情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

〒036-8182 弘前市大字土手町81 業務部  
TEL 0172-33-8404 -2024.1.31-  
HP <https://www.shinkin.co.jp/toshin/>

～日本・当地域・個社別の景気は厳しい状況ながらやや改善進む見通し～

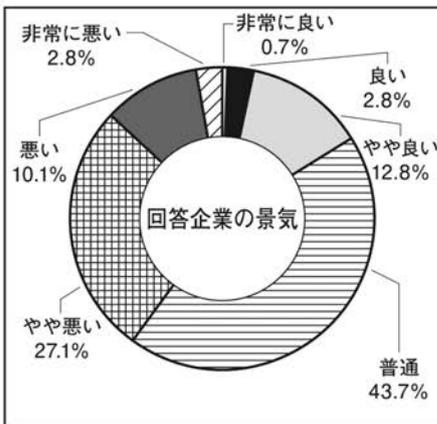
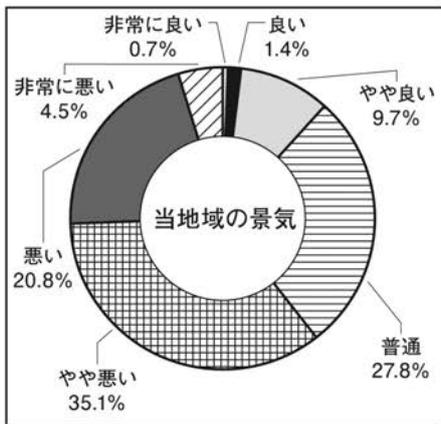
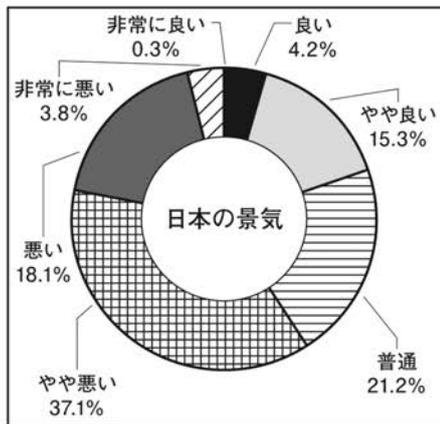
### 2024年の景気見通し

日本の景気予想では「非常に良い」「良い」「やや良い」のいずれかに予想した先が19.8%で前回比10.2ポイント上昇する結果となった。また、「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」のいずれかに予想した先が59.0%で前回比15.5ポイント低下する結果となった。「普通」と予想した先は21.2%と前回比5.4ポイント上昇する結果となった。

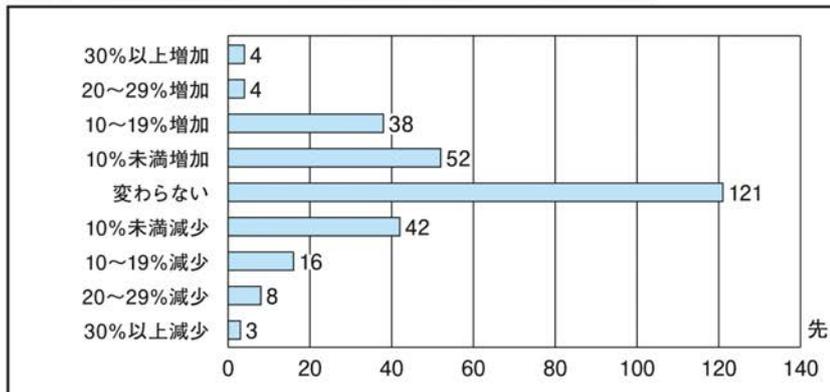
当地域の景気予想は、「非常に良い」「良い」「やや良い」のいずれかに予想した先が11.8%で前回比4.6ポイント上昇する結果となった。また「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」のいずれかに予想した先が60.4%、前回比19.0ポイント低下した。

個社別でも「非常に良い」「良い」「やや良い」のいずれかに予想した先が16.3%で前回比6.0ポイント上昇する結果となった。また「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」のいずれかに予想した先が40.0%、前回比17.7ポイント低下する結果となった。

「日本の景気」「地域の景気」「個社別の景気」総体での景況感は、やや改善が進む見通しである。



### 2024年の売上額の伸び率



2024年の売上額の伸び率予想は「増加」項目のいずれかに予想した先が34.1%と前回比6.4ポイント上昇した。

また、「減少」項目のいずれかに予想した先については24.0%と前回比6.2ポイント低下した。

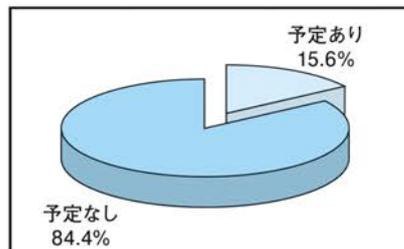
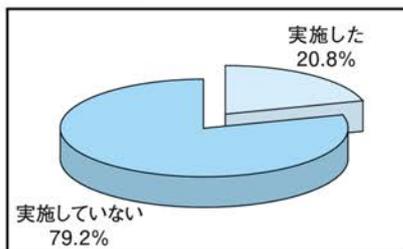
加えて、今回調査で「変わらない」と予想した先が、42.0%と前回比0.1ポイント増加した。

「増加ー減少」でみると10.1%、前回▲2.5から12.6ポイント上昇となり、改善している状況にあるとの結果となった。

### 設備投資

2023年中に設備投資を実施した先は20.8%と前回比0.5ポイント増加となった。業種別では運輸業50.0%、製造業27.3%、サービス業26.8%、不動産業22.2%が上位を占め、全ての業種で設備投資があったとしている。

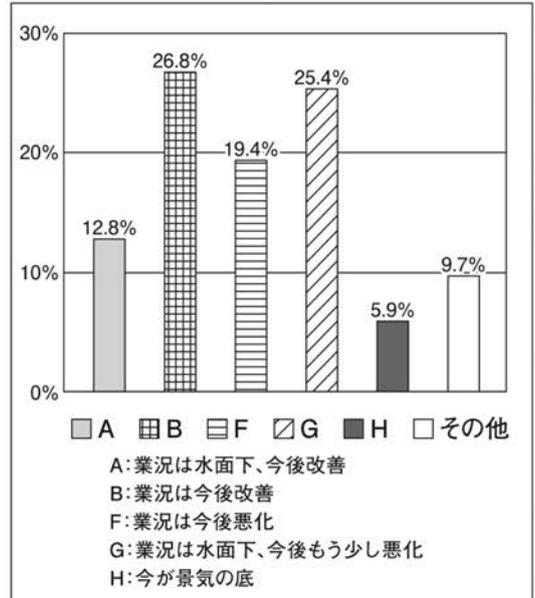
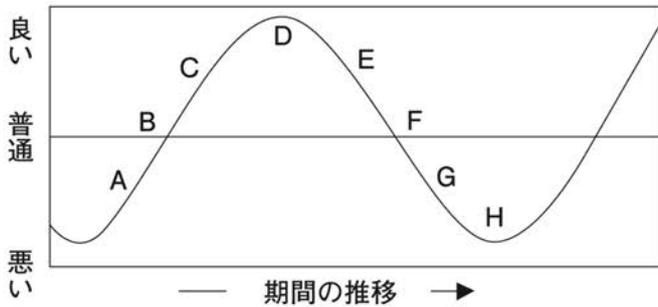
今後実施予定ありとした先は15.6%となった。



### 現在の当地域景気の位置付け

津軽地域の景気が今現在、どの状況(下表の座標点で回答)にあるかについて、B(業況は今後改善)を選択した先が26.8%(前回比14.4ポイント上昇)と最も多く、次いで、G(業況は水面下、今後もう少し悪化)は25.4%(前回比11.0ポイント低下)、F(業況は今後悪化)19.4%(前回比0.8ポイント上昇)、A(業況は水面下、今後改善)12.8%(前回比3.4ポイント低下)、H(今が景気の底)5.9%(前回比3.4ポイント低下)、その他の部分についても9.7%の先が選択している。

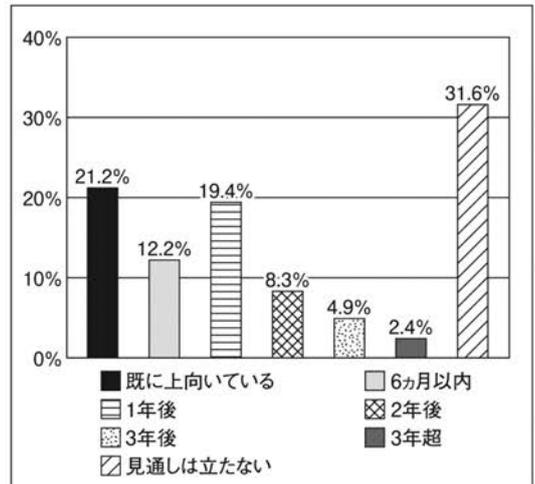
FおよびGの今後悪化傾向とした企業が44.8%、AおよびBの今後改善傾向とした企業が39.6%と、悪化見通しがやや多い結果となった。



A:業況は水面下、今後改善  
 B:業況は今後改善  
 F:業況は今後悪化  
 G:業況は水面下、今後もう少し悪化  
 H:今が景気の底

### 自社業況の転換時期

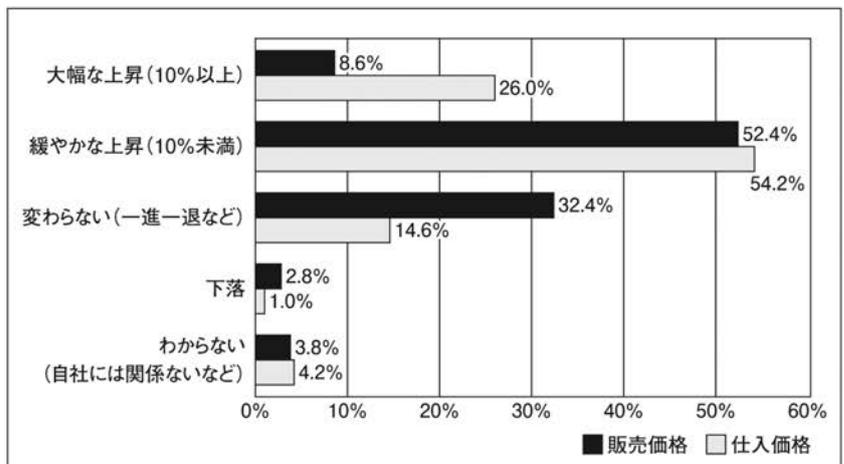
自社の業況が上向き転換点見通しについては、業況が「既に上向いている」と予想した先が21.2%(前回比10.9ポイント上昇)と大幅な改善となった。「業況改善の見通しは立たない」が総体の31.6%(前回比0.6ポイント上昇)として先行きの不透明感を危惧している企業も多い。中でも小売業(44.9%)、卸売業(31.0%)が、30%以上と高い水準で不安を訴えている。また、転換点を3年後は4.9%(前回比3.0ポイント低下)、3年超2.4%(前回比3.4ポイント低下)と、業況回復が短期化すると予想している傾向にある。



### 2024年の販売価格と仕入価格の展望

2024年の販売価格については「緩やかな上昇」が最も多く52.4%。次いで「変わらない」が32.4%、「大幅な上昇」が8.6%となり、上昇を見込んでいる先は61.0%を占めた。下落やわからないと回答した企業は6.6%あった。

仕入価格では「緩やかな上昇」が最も多く54.2%。次いで「大幅な上昇」が26.0%、「変わらない」が14.6%と上昇を見込んでいる先は80.2%を占めた。下落やわからないと回答した企業は5.2%あった。総体的には仕入価格の上昇が販売価格の上昇を上回る結果となり、来期も収益確保は厳しい見通しとなった。



#### 調査要領

- 調査時期 2023年12月下旬
- 調査地域 当金庫営業区域7市町村(弘前市、黒石市、平川市、五所川原市、大鰐町、藤崎町、田舎館村)
- 調査方法 上記地域で事業を営んでおられる事業主の方に実施した感触調査(回答先288先、回答率98.97%)